２０１３年2月１９日

四万十市長選挙方針（案）

高知県労働組合連合会
執行委員長　　田口　朝光

四万十市長選挙が４月１４日告示、２１日投票で戦われます。

私たち県労連は、「政党支持自由」の原則を掲げ、特定政党・候補の支持はしません。
しかし、要求実現と政治は密接な関係を持っていることから、党派選挙においても、県労連として選挙の争点、政党選択の基準、その材料を組合員に提示し、政治論議を活発にし、政治を労働者、国民本位に転換することを目指してきました。
さらに、首長選挙の場合には、①政党や各団体が共同して推薦する無党派の候補者であること、②候補者との間に基本政策について合意ができることを前提に県労連として候補者の推薦や選挙の推進母体の一員として首長選挙を闘う方針を掲げてきました。

これまで県労連としては、県知事選挙については革新県民連合の主要団体として統一候補を立てて戦った経験を持っています（2007年暮れの県知事選挙では元県労連委員長の国松勝氏を統一候補として戦いました）。また、高知市長選挙については県都ということもあり、また革新統一の伝統もあり、県労連として候補者の推薦などをしてきました。
しかし、県都以外の自治体の首長選挙については、当該単組、産別の取り組みを優先し、そこからの推薦があれば、執行委員会等の機関会議にかけ取り組むという方針を掲げてきました。

四万十市長選挙については、4年前の選挙の時点でも候補者本人からも直接訪問を受けあいさつをいただき、推薦の依頼もあってはいましたが、県都以外の首長選挙であり特段単組、産別からの推薦依頼もなく、初出馬という点での実績の評価ができないこともあり、県労連としての推薦は控えておりました。
今回は、昨年11月に市長自身による直接の訪問を受けあいさつをいただき、2月には文書で正式に推薦依頼をいただきました。候補者の4年間の実績は、市民病院の立て直し、自然エネルギーの推進へ向けた四万十川アピールでのリーダーシップ、市民、住民、職員の意見を反映した市政運営の手法など高く評価できるものがあります。
今回の四万十市長選挙は現職市長と保守の候補者の一騎打ちの戦いが予想され、4年間の田中市政を守り発展させる正念場の選挙となります。
2月12日には県労連も加盟する高知県革新懇が、田中市政の4年間の実績を評価し、革新自治体を広げ、政治革新をすすめる観点で推薦を決定しました。
更に県労連としては、昨年末に成立した安倍内閣による憲法改正の動きなど日本政治が全体として右傾化する中で、革新統一の運動を地方からも広げて行くことが重要であると考えています。

これらの点から、2月14日の県労連執行委員会では、自治労連と調整しながら推薦をすることを決定しました。自治労連が2月17日に田中全氏の推薦を決定したことで条件が整ったことから、候補者本人と直接話を行った上で、推薦を正式決定する運びとしたいと考えます。

田中氏の基本政策と経歴は次の通りです。

基本方針

一、対話を大切に市民の力を引き出す市政

二、地域住民の生命と暮らしと健康を守る市政

三、「地元で出来るものは地元で！」

四、安心・安全をめざし、防災・減災に強い市政

五、四万十川を再生する環境・産業を育む市政

六、幡多の歴史と文化を育む市政

田中全(たなか　ぜん)氏の 略歴

昭和二十八年二月二十日	旧中村市実崎に生まれる。八束小学校・同中学校をへて高知学芸高校に進学・卒業
昭和五十一年三月	一橋大学経済学部卒業
昭和五十一年四月	農林中央金庫に入庫。本店(東京)、大分、福岡、高知、岡山、大阪、新宿、札幌など支店勤務
平成十八年三月	協同リース株式会社大阪支店副支店長
平成二十年八月	同社退職
平成二十一年五月	四万十市長

以　　上